

## 企業行動研究部会議事録（第 282 回）

日 時： 令和元年 2 月 9 日(月) 18:00-20:00

場 所： B E R C 会議室

出席者： 上原利夫、岡田佳男、勝田和行、河口洋徳、北川則道、熊本一夫、栗栖徳雄、西藤輝、  
佐久間健、永井郁敏、野崎篤彦、比賀江、菱山隆二、古山英二、峰内謙一、  
合計 15 名

### 1. 連絡事項第 169 回理事会概要報告

勝田部会長より、第 169 回理事会審議内容について報告が行われた。

#### 【決議事項】

議題 1. 新入退会者承認の件

前回承認 476 名、今回入会承認 13 名、退会 4 名となり、合計 485 名

議題 2. 論文規程等改訂の件

理事会当日の指摘事項について、さらに学会誌編集・論文審査委員会で内容について継続検討の上、次回理事会において再度審議することになった。

#### 【報告事項】

議題 1. 第 11 回経営倫理シンポジウムの件

シンポジウムの内容、現在までの集客状況（約 70 名）等についての説明。今後さらに集客を図ることとした。（※その後の実行委員会で中止決定）

議題 2. 学会誌 27 号発行の件

学会誌 27 号掲載論文審査経過報告が行われた。発表数 30 件、投稿数 36 件（CFP を含む）、掲載数 30 件、掲載不可 1、掲載辞退 5（発表論文 4、CFP 1）であった。

議題 3. 総会・研究発表大会進捗報告の件

大会実行委員会の文委員長より、準備状況について、以下の報告が行われた。

1. 開催日程は、6 月 20 日（土）～21 日（日）で確定
2. 開催場所については、常葉大学の 3 校舎の内いずれかを確保
3. 統一論題に基づくシンポジウム登壇者（基調講演者、パネラー等）を早々に確定し、決定次第、会員への案内を行う。
4. 本件日程の確定が本日になったことを受け、研究発表大会応募締め切りを 2 月末から 3 月 13 日へ延長する。

議題 4. 第 9 回 CSR 構想インターゼミナール開催報告の件

「第 9 回 CSR 構想インターゼミナールの開催報告」に基づき、報告が行われた。

1. 優勝：東北大学高浦ゼミ、準優勝：お茶の水女子大斎藤ゼミ
2. 今後参加校を増加するためにも、募集要項を早目に案内する方向で検討頂きたいとの意見が出された。

議題 5. 日産車体様視察の件

経営倫理現場視察委員長の井上常任理事より、現場視察の試行として日産車体株式会社へ 10 人規模の視察会を行うことが報告された。（※後日延期が決定した）

#### 【その他】

議題 1. 日本経済学会連合補助制度の件

葉山副会長より、資料に基づき制度概要の説明が行われた。

1. 当学会としては、まず国際会議派遣補助、次に学会会合費補助の申請を行う
2. 各研究部会に呼びかけ国際派遣計画を、5 月末までに事務局あて申請頂き、調整の上連合への申請を行う

### 3. これを受け、学会として、6月30日締め切りでの学会連合への申請を行う予定

#### 議題2. 研究法ワークショップに関する件

研究法ワークショップ暫定幹事の小方副会長より、資料6.に基づき3月3日~24日にかけて、「研究法ワークショップ開催(案)」について布告が行われ、了承された。4回分の講師が決定次第、事務局より会員に案内することとした。(※その後の委員会で8月に延期決定)

#### 議題3. 新ジャーナルに関する件

小方副会長より、資料7.に基づき、発刊企画案について説明が行われ、質疑を行った。これを受け、新ジャーナルの発刊を前提に、今後委員会で内容を詰め、次回理事会に付議できるよう準備することとした。

#### 議題4. 中部地区研究部会開催報告の件

中部地区研究部会蕎麦谷部会長(理事)より1月25日に開催された中部地区研究部会の内容及び参加者一覧(23名参加)等の説明・報告が行われた。

#### 議題5. 本年度の理事会/研究交流例会等の開催日程再確認の件

4月25日(土) 11:00~13:00(理事会) 13:30~16:20 研究交流例会  
6月20日(土)~21日(日) 総会・研究発表大会  
9月12日(土) 11:00~13:00(理事会) 13:30~16:20 研究交流例会  
11月以降の予定は次回以降に決定とした。

#### 議題6. その他

日台経営倫理シンポジウムの開催について、今後開催の方向で、詳細を決め会員に案内予定であることが報告された。

笹谷理事より、「第2回未来まちづくりフォーラム 日本創生SDGsモデルをつくろう」が開催されるとの案内があった。

## 2. 会員各位の年度発表計画について

勝田部会長より、企業行動研究部会の今後の方向、各位の研究テーマ案等について、出席の各位から順次発言がうながされた。

- ・道徳と倫理についての解釈が分かれて来たように感じている。Morality と Ethics の相違の発生について興味がわいてきているので、特にこのことを研究しようと考えている。空回りの無い理論として検証したい。(本件について、定義論などを含め議論が行われたが、ここでは省略する)
- ・企業の社是・社訓などの由来と、M ウェーバーの主張の中に共通性があるように感じており、宗教的背景との関連を分析してみたいと考えている。
- ・資本主義の病的な側面を、日本の倫理思想史なども踏まえて研究発表を検討している。日本的経営と欧米的経営との比較に加え米国の最近の動向(The end of shareholder value)をも考慮した比較研究を検討中。和辻哲郎についても研究対象と考える。
- ・昨年大きな疾病を得たため、しばらくは聴講に徹しさせて頂く。
- ・「名経営者はどこで間違えたか」という書籍が発刊されたが、こうした書籍を決めて話を聞いたり読んだりして意見交換を行うなども良いと考える。(企業行動研究部会の原点の理解にも役立つ)
- ・従前の仕事が危機管理だったが、後始末でないCSRを予防医学的に取り組んだ。BERCで第4次産業革命についての勉強会をもやった。今年はダボス会議などの動きも踏まえながら、新しいテーマIT、AI その他の時代流れも受けて研究テーマを深めたい。
- ・昨年4月から、参加しているもので、皆様の問題意識を学びながら、経営の在り方や組織論、人の動かし方などにも具体的に研究テーマを広げたい。
- ・簡保不正などについて、ガバナンス、内部統制などの観点からの分析も行って行きたい。
- ・自分はもともと組織論を専門としているので、大企業の取組について深めて行く。特にダボス会議を経てTCFDへの取り組みなどについて観察することなどを含めて研究して行きたい。例えばカナダの銀行等との比較も含めて。
- ・自分は貿易管理、安全保障貿易などについて、一企業も数年ごとに問題を生起しているので一その

あたりの研究発表を行う予定。

- ・現場で起こっていることを、例えば3社くらいの現在生起していることを、悪いことだけでなく、良いことを行っている例えばトヨタなどの企業活動をも取り上げたい。経済、会計関連の事例を具体的に研究、議論して行きたい。あらかじめコンセンサスを決めて進めるべきでないか。
- ・具体的な企業研究というなら、トヨタ、日産、等もわかるが、例えばユニクロなども研究価値が高いと考える。コンビニなどについても興味深いところがあると考える。
- ・こうしたテーマ研究が何に役立てるのか、出口を考えて進めることもあって良い。現在学会で検討している、(新) ジャーナルなどへの掲載による世間へのアピールも価値あり。
- ・実証事例研究の土台になる議論を深めることも意義があると考え。
- ・プラットフォームビジネスにおける、例えば今回の楽天の価格問題等も本来経営倫理の範疇。
- ・例えば企業文化というようなこと、また大きな意味でグローバルなうねり（先ほどのダボス会議の方向なども含め）についての研究、ヨーロッパにおけるグリーンディール、や温暖化1.5°C問題などもあり、既にまた、早い企業は2030年までに、カーボンニュートラルから、カーボンネガティブに舵を切り始めている企業が4つほど出てきたが、これなどは、取り上げるべきテーマと考え。世界の動向を見て行きたい。
- ・中国のような国でのビジネスをどうするか？例えばインテルの考え方、あるいはアップルの考え方との対比もある。
- ・技術の進展に対する対応、ガバナンスの動向などもフロー論として論じてみたい。
- ・IT、IOT、AI など、デジタルトランスフォーメーションなどの観点で研究を深めたい。
- ・外国人労働者と経営倫理をと考えたが、現状はギブアップ気味であり、公益通報者保護制度の継続発表を含めて検討。
- ・懐かしく聞かせてもらった、2009年から2012年ぐらいの参加。顔ぶれが大きくは変わっていません、少々安心した。現状中小企業の立場で（今年250億今後1000億を目指している）毎年1000名ぐらいの応募から25名程度採用している。社員には小論文を書くよう勧めている。心配なのは、IT関連でコンスタントに業績を伸ばして、企業を売却する風潮があるように感じている。こうした風潮が良いのか、実像のある企業作りが必要ではないか、というようなことを考えている。

以上

#### 4. その他

勝田部会長より、本日皆様が提唱されたテーマを、幹事を通じ提出いただき、計画的に会を運営して行きたいとの協力依頼が行われた。また上原部会員及び幹事団から、2月28日開催の経営倫理シンポジウムへの参加を促し終了した。

**※但し本シンポジウムもその後、コロナ問題で中止となった。**

以上

議事録送付先(敬称略)：

[部会員]：秋山和久 安藤 颯 石川英男 井上真由美 岩倉秀雄 上原利夫 遠藤梨栄 大泉英隆 大沼久美 岡本伊万里 岡田佳男 小澤彩子 小畑哲哉 片方恵子 勝田和行 加藤隆一 河口洋徳 川村正彦 北川則道 木下博生 銀山一浩 熊本一夫 熊本えり 栗栖徳雄 桑山三恵子 剣持 浩 小池裕子 小池恒平 小松久夫 小松昌子 近藤成径 西藤輝 櫻井功男 (順不同) 佐久間健 佐藤陽一 柴柳英二 潜道文子 高橋太一 武谷 香 田村尚子 出口純輔 徳山 誠 永井郁敏 那須一貴 西村秀美 根本三千夫 野崎篤彦 野瀬哲郎 比賀江克之 樋口晴彦 肥後文雄 菱山隆二 平塚 直 古谷由紀子 古山英二 堀場政行 増澤洋一 増淵隆史 松尾 實 松本邦明 丸山千賀子 宮澤直幸 峰内謙一 向井恒泰 森田 充 森 敦子 森下和代 山中 裕 山本明男

[学会本部]：潜道会長 梅津前会長 水尾前副会長 高橋元会長 内田事務長